科目名: 成人臨床看護Ⅱ	必修	1単位(45時間)
(Adult Clinical Nursing Ⅱ)		

履修年次/時期: 2年次 後期　　授業形態: 講義,演習

主担当教員: 棚橋 泰之

主担当教員詳細: 実務経験 看護師13年:実務経験および教育経験から初学者に必要な知識と技術が獲得できるよう授業展開する。

担当教員名: 棚橋泰之、清水正子

学修目的	急性期にある患者と家族の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、特に周術期にある患者の回復過程におけるアセスメントと看護援助について、事例を用いて理解を深める。 関連するCP: CP1,CP2,CP3,CP4,CP5　　科目No. KNz-209		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○: この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	① 周術期にある患者とその家族の特徴について説明できる。 ② 手術侵襲による生体反応について説明できる。 ③ 状況に応じたアセスメントと看護援助について説明できる。		
授業概要	健康状態の急激な変化により健康障害をきたした成人期の対象とその看護について学ぶ。特に周術期(消化器、運動器、感覚器、泌尿器、女性生殖器)に焦点化し臨床判断能力を意識した思考過程を学ぶ。		
評価方法	定期試験60% 課題40% 評価に対するフィードバックは課題返却時に行う。		
予習・復習時間	【予習】0.5時間 【復習】0.5時間		
教科書	① 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論(医学書院) ② 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[2]呼吸器(医学書院) ③ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5]消化器(医学書院) ④ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[10]運動器(医学書院) ⑤ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[11]アレルギー 膠原病 感染症(医学書院)		
参考書	授業内で紹介する。		
ｵﾌｨｽｱﾜｰ 連絡先	在室時は調整し対応。不在時は下記メールに連絡ください。 棚橋泰之:3号館3階 研究室 tanahashi@kdu.ac.jp		

実施回	第1回	実施日	2026/09/07（月）	時限	1	班	
授業計画	周術期にある対象の理解 ① 周術期にある患者と家族の特徴が説明できる。 ② 周術期における看護師の役割が説明できる。 ③ 周術期における安全管理について説明できる。 侵襲による生体反応の理解 ① 手術による生体反応の特徴が説明できる。 ② おこりやすい術後合併症と好発時期が説明できる。	予習	教科書①の第6章A、第1章B①②③を通読する。病態と治療論Ⅱで学習した手術侵襲と生体反応、麻酔法について。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	周術期、周術期看護、意思決定支援、患者確認、院内感染サーベイランス、侵襲、麻酔法、全身麻酔、ムーアの分類、サードスペース				
授業形態	講義	担当	棚橋				

実施回	第2回	実施日	2026/09/07（月）	時限	2	班	
授業計画	手術療法を受ける患者の看護（1）肺がん事例 ① 肺がんの病態生理、治療について説明できる。 ② 回復過程におこりうる合併症の予測ができる。 ③ 術後に必要な観察と回復促進に向けた援助を述べることができる。	予習	病態と治療論Ⅲで学習した肺がんについて。教科書②の第2章、第4章B⑧、第5章H、第6章A②、D⑤を通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	肺切除術、胸腔ドレナージ、肺活量、1秒率、呼吸訓練、呼吸リハビリテーション				
授業形態	講義	担当	棚橋 外部講師				

実施回	第3回	実施日	2026/09/14（月）	時限	1	班	
授業計画	手術療法を受ける患者の看護（1）肺がん事例 ① 肺がんの病態生理、治療について説明できる。 ② 回復過程におこりうる合併症の予測ができる。 ③ 術後に必要な観察と回復促進に向けた援助を述べることができる。	予習	病態と治療論Ⅲで学習した肺がんについて。教科書②の第2章、第4章B⑧、第5章H、第6章A②、D⑤を通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	肺切除術、胸腔ドレナージ、肺活量、2秒率、呼吸訓練、呼吸リハビリテーション				
授業形態	講義	担当	棚橋 外部講師				

実施回	第4回	実施日	2026/09/14（月）	時限	2	班	
授業計画	手術療法を受ける患者の看護（1）肺がん事例 ① 肺がんの病態生理、治療について説明できる。 ② 回復過程におこりうる合併症の予測ができる。 ③ 術後に必要な観察と回復促進に向けた援助を述べることができる。	予習	病態と治療論Ⅲで学習した肺がんについて。教科書②の第2章、第4章B⑧、第5章H、第6章A②、D⑤を通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	肺切除術、胸腔ドレナージ、肺活量、1秒率、呼吸訓練、呼吸リハビリテーション				
授業形態	講義	担当	棚橋 外部講師				

実施回	第5回	実施日	2026/09/28（月）	時限	1	班	
授業計画	手術療法を受ける患者の看護（2）胃がん事例 ① 胃がんの病態生理、治療について説明できる。 ② 回復過程におこりうる合併症の予測ができる。 ③ 術後に必要な観察と回復促進に向けた援助を述べることができる。	予習	病態と治療論Ⅴで学習した消化器疾患について。教科書③の第2章B、第4章B⑤⑦、第5章B④、第6章E②を通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	内視鏡的切除（EMR、ESD）、胃全摘術、幽門側胃切除術、再建、術後呼吸器合併症、縫合不全、貧血、ダンピング症候群				
授業形態	講義	担当	棚橋 外部講師				

実施回	第6回	実施日	2026/09/28（月）	時限	2	班	
授業計画	手術療法を受ける患者の看護（2）胃がん事例 ① 胃がんの病態生理、治療について説明できる。 ② 回復過程におこりうる合併症の予測ができる。 ③ 術後に必要な観察と回復促進に向けた援助を述べることができる。	予習	病態と治療論Ⅴで学習した消化器疾患について。教科書③の第2章B、第4章B⑤⑦、第5章B④、第6章E②を通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	内視鏡的切除（EMR、ESD）、胃全摘術、幽門側胃切除術、再建、術後呼吸器合併症、縫合不全、貧血、ダンピング症候群				
授業形態	講義	担当	棚橋 外部講師				

実施回	第7回	実施日	2026/10/05（月）	時限	1	班	

授業計画	手術療法を受ける患者の看護(2)胃がん事例 ① 胃がんの病態生理、治療について説明できる。 ② 回復過程におこりうる合併症の予測ができる。 ③ 術後に必要な観察と回復促進に向けた援助を述べることができる。	予　習	病態と治療論Ⅴで学習した消化器疾患について。教科書③の第2章B、第4章B⑤⑦、第5章B④、第6章E②を通読する。
		復　習	授業ノートの整理
		キーワード	内視鏡的切除(EMR、ESD)、胃全摘術、幽門側胃切除術、再建、術後呼吸器合併症、縫合不全、貧血、ダンピング症候群
授業形態	講義	担当	棚橋 外部講師

実施回	第8回	実施日	2026/10/05 (月)	時限	2	班	
授業計画	手術療法を受ける患者の看護(3)大腸がん事例 ① 大腸がんの病態生理、治療について説明できる。 ② 回復過程におこりうる合併症の予測ができる。 ③ 術後に必要な観察と回復促進に向けた援助を述べることができる。	予　習	病態と治療論Ⅴで学習した消化器疾患とストーマケアについて。教科書③の第2章C・D、第4章第5章C-⑩、第6章E-③-⑧を通読する。				
		復　習	授業内容の振り返りとノートの整理				
		キーワード	腹会陰式直腸切除術、人工肛門、ストーマサイトーマーキング、ボディイメージの変容、排尿障害、性機能障害				
授業形態	講義	担当	棚橋 外部講師				

実施回	第9回	実施日	2026/10/19 (月)	時限	1	班	
授業計画	手術療法を受ける患者の看護(3)大腸がん事例 ① 大腸がんの病態生理、治療について説明できる。 ② 回復過程におこりうる合併症の予測ができる。 ③ 術後に必要な観察と回復促進に向けた援助を述べることができる。	予　習	病態と治療論Ⅴで学習した消化器疾患とストーマケアについて。教科書③の第2章C・D、第4章第5章C-⑩、第6章E-③-⑧を通読する。				
		復　習	授業内容の振り返りとノートの整理				
		キーワード	腹会陰式直腸切除術、人工肛門、ストーマサイトーマーキング、ボディイメージの変容、排尿障害、性機能障害				
授業形態	講義	担当	棚橋 外部講師				

実施回	第10回	実施日	2026/11/11 (水)	時限	1	班	
授業計画	手術療法を受ける患者の看護(3)大腸がん事例 ① ストーマを造設した患者の心理状態と心理的支援について説明できる。 ② ストーマの観察と観察方法が説明できる。 ③ ストーマ造設術を受けた患者の生活支援や社会資源の活用について説明できる。	予　習	教科書③の特論を通読する				
		復　習	授業内容の振り返りとノートの整理				
		キーワード	ストーマケア、ストーマ関連合併症、スキンケア、オストメイト、身体障害者福祉法				
授業形態	講義	担当	棚橋 外部講師				

実施回	第11回	実施日	2026/10/27 (火)	時限	3	班	
授業計画	手術療法を受ける患者の看護(1)演習 ① 術後1日目の観察ができる。 ② 観察した結果から必要な援助を判断し、実施できる。	予　習	提示した課題に取り組む				
		復　習	演習後の課題に取り組む				
		キーワード	臨床判断、看護実践力, 思考発話				
授業形態	演習	担当	棚橋 外部講師				

実施回	第12回	実施日	2026/10/27 (火)	時限	4	班	
授業計画	手術療法を受ける患者の看護(1)演習 ① 術後1日目の観察ができる。 ② 観察した結果から必要な援助を判断し、実施できる。	予　習	提示した課題に取り組む				
		復　習	演習後の課題に取り組む				
		キーワード	臨床判断、看護実践力, 思考発話				
授業形態	演習	担当	棚橋 外部講師				

実施回	第13回	実施日	2026/11/18 (水)	時限	1	班	

授業計画	手術療法を受ける患者の看護(3) ① ストーマ造設患者に対する看護の実際を知る。	予　習	教科書④の第5章H、第6章E7、教科書⑤第5章B、第6章E①を通読する
		復　習	演習後の課題に取り組む
		キーワード	ストーマケア、ストーマ関連合併症、スキンケア、オストメイト、身体障害者福祉法
授業形態	講義	担当	棚橋 外部講師

実 施 回	第15回	実 施 日	2026/11/24 (火)	時限	3	班	
授業計画	まとめ ①周術期にある対象特性をふまえた看護を提供するために必要なことを整理できる。 ②学習範囲の国家試験出題内容を理解できる。	予　習					
		復　習	授業内容の振り返りとノートの整理				
		キーワード	国家試験出題基準, 周術期看護				
授業形態	講義	担当	棚橋				

実 施 回	第14回	実 施 日	2026/11/25 (水)	時限	1	班	
授業計画	手術療法を受ける患者の看護(3) ① ストーマのセルフケアに向けた指導を考えることができる。	予　習	教科書④の第5章H、第6章E7、教科書⑤第5章B、第6章E①を通読する				
		復　習	授業内容の振り返りとノートの整理				
		キーワード	ストーマケア、ストーマ関連合併症、スキンケア、オストメイト、身体障害者福祉法				
授業形態	講義 演習	担当	棚橋 外部講師				